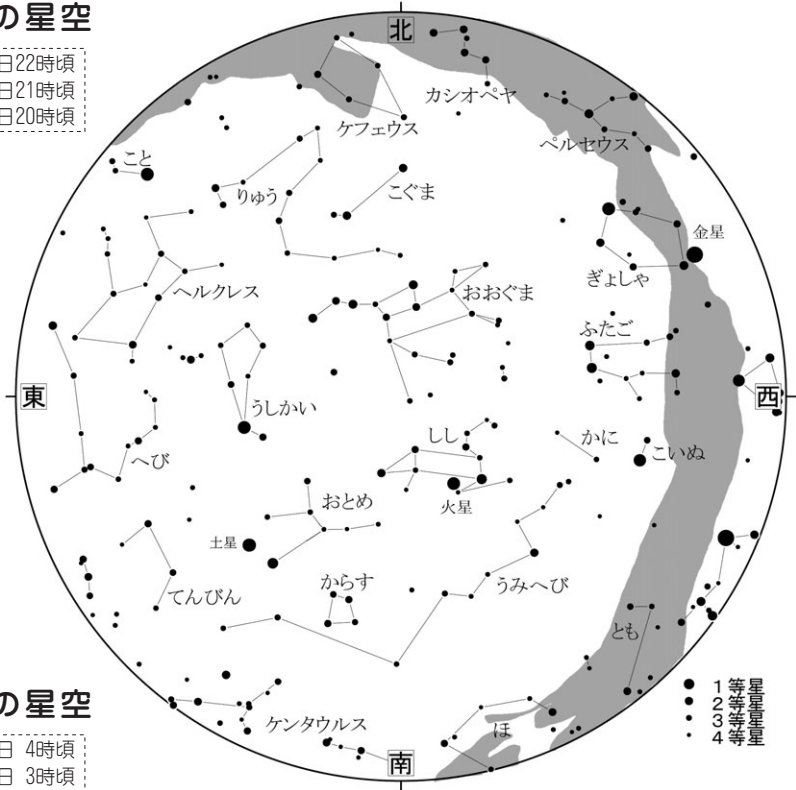




★星空ガイド 4月16日～5月15日

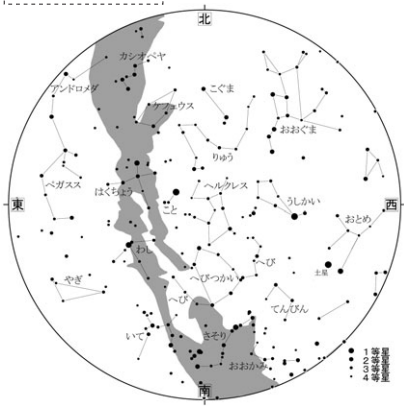
よいの星空

4月16日 22時頃
5月 1日 21時頃
15日 20時頃



あけの星空

4月16日 4時頃
5月 1日 3時頃
15日 2時頃



[太陽と月の出入り(大阪)]

月	日	曜	日の出	日の入	月の出	月の入	月齢
4	16	月	5:25	18:30	2:24	13:58	24.5
	21	土	5:19	18:34	4:56	18:38	29.5
	26	木	5:14	18:38	8:25	22:55	4.8
5	1	火	5:09	18:42	13:18	1:29	9.8
	6	日	5:02	18:46	19:06	4:41	14.8
	11	金	4:58	18:50	23:48	9:46	19.8
	15	火	4:55	18:54	1:28	13:46	23.8

※惑星は2012年5月1日の位置です。

<土星が見ごろ>

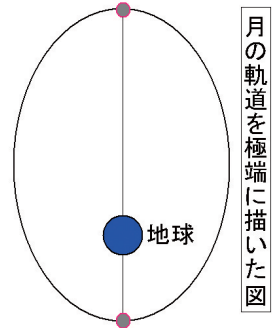
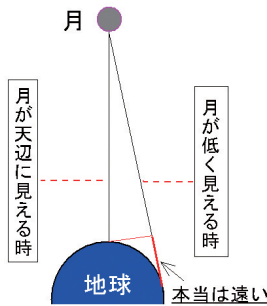
4月17日に土星が衝になります。「衝」は地球をはさんで惑星が太陽と反対側に来ることです。その惑星が地球に接近する日にも近く、また満月のように日の光をいっぱい浴びているので、明るく見えます。ほぼ一晩中見ることができます。

<大きな月、小さな月>

5月5日、月が今年最も地球に近づきます。その翌日の満月はいつもに増して大きく見えることでしょう。ところで、地平線に近く低い位置にある月がとて大きく見えることがあります。でも、よく考えてみると、下の図のように、地平線に近い時の方が、天辺に昇った時より月は遠いのです。同じ夜に見ているなら、低い月の方が「小さい」はずなのです。大きく見えるのは目の錯覚なのです。

なお、月はおよそ一ヶ月で楕円形の軌道を回っています。5月6日の大きな満月の2週間後、月は地球から約40万km離れ、いつもより2万kmも遠いところにいます。それで、5月21日の日食では月が太陽を全部かくすことができず、「金環日食」になります。

左図：地平線に近い月は地球半径分遠い。
右図：月の軌道を極端に描いた。遠い時と近い時で、4万km以上の差がある。



[こよみと天文現象]

月	日	曜	主な天文現象など
4	16	月	火星とレグルスがならぶ
	17	火	土星が衝
	19	木	水星が西方最大離角(明け方東天) 月と水星がならぶ
	20	金	穀雨
	21	土	●新月(16時)
	22	日	月が最遠(406583km) こと座流星群が極大
	23	月	月と木星がならぶ
	24	火	月とアルデバランがならぶ
	25	水	月と金星がならぶ
	29	日	●上弦(19時)

月	日	曜	主な天文現象など
5	1	火	八十八夜 月と火星とレグルスがならぶ
	4	金	月と土星とスピカがならぶ
	5	土	月が今年最近(356955km)
	6	日	○満月(13時)
	7	月	みずがめ座η流星群が極大のころ 月とアンタレスがならぶ
	13	日	●下弦(7時)
	14	月	木星が合

石坂 千春(科学館学芸員)